

令和4年度 並木地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

海を埋め立ててできた平地に広がる巨大な団地群と、丘陵地の戸建住宅からなる地域です。道路や公園などが整備され、高齢化率は区内でも高めですが、要介護認定率は低く、「元気な高齢者が多い街」といわれています。一方、コロナ禍による影響で、生活困窮に陥る世帯や高齢者の閉じこもりの増加が懸念されます。

いつまでも健康で住み慣れた地域で生活し、この先も「元気な高齢者が多い街」、「子育て世代にも魅力のある街」となるよう、孤立させない見守りの仕組みづくりを地域の方々と進めていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

—具体的な取組内容—

- | | | |
|--------------------------|---|--|
| <input type="checkbox"/> | ■ | 自治会町内会や地区社協や民児協の定例会等への出席により、地域の関係団体との連携を深め、地域情報や課題を把握する。また、フードバンクの取り組みを担当エリアを中心に地域と連携して実施する。さらに、新たな福祉教育ツールを活用し、SSWや教育機関との連携を深める。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 元気な高齢者の健康意識を高め、運動習慣が身につくように促します。また、「高齢・独居・閉じこもり」を掘り起こし、関係構築しながら気軽に元気づくりステーション等への参加を促します。さらに、必要な方には既存の自主活動グループを紹介します。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 在宅医療における課題解決に向けて「北部在宅医療連絡会」を4地域ケアプラザの主任ケアマネジャーと共同開催し、多職種で検討する機会を提供します。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 認知症や権利擁護に関する講座を複数回開催し、地域での理解を促進すると共に潜在的なニーズを掘り起こします。また、日頃から啓発チラシ等を活用して消費者被害を防ぎます。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 継続的に担い手を増やすために、地区社協や連合町内会定例会等で、担い手が必要な活動をPRしていく。また、SNSを活用して地域に周知していく。 |
| <input type="checkbox"/> | ■ | 自主事業や地域での出張説明会にて、地域課題について触れ、地域住民と情報共有を進める。 |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント